



不妊治療最前線増加する卵子の凍結保存

ここ数年で“卵子の老化”がメディアを通じてブラジルでも盛んに取り上げられています。未婚女性や将来出産したい女性の間では、卵子を凍結保存することへの関心が高まり、その数も年々増加しています。

◆35歳以下の凍結を推奨

現代の産婦人科医は、第一子を出産するなら30歳まで、長く見積もっても35歳までに妊娠することを奨めています。年齢の経過とともに妊娠や出産が難しくなるからです。現代は医療技術が進歩していますが、母子の健康を考えると、40歳の出産でも安心とは決して言えません。

8年前から世界的に実施されるようになったガラス化保存法という卵子の凍結技術は、融解後の妊娠率が通常の体外受精とほぼ同じで、妊娠を希望する女性から高い期待を寄せられています。しかし、卵子の質や数の面から言うと、35歳までに凍結保存しておくことが推奨されています。

◆どのようなケースで卵子を凍結していますか？

最近こんなケースがありました。結婚を前提に8年間付き合っていた男性と別れてしまい、将来妊娠することを強く望んでいたため、36歳を目前にして急きょ卵子の凍結保存に踏み切ったということです。

若い時子供なんていなくてもいいと思っていた女性が、40歳を間近にして急に子どもが欲しくなったり、流産した後に妊娠したいとの気持ちがより強まったりすることもあります。女性によっては仕事の都合やパートナーの不在、時には病気の治療で今すぐ妊娠できない等、それぞれの事情から将来の妊娠に備えて卵子を保存しています。

*『フェルチクリン』の中野英二医師にお話をいただきました。



《写真はイメージです》

フェルチクリン FERTICLIN

Av. Indianópolis, 1960 - Planalto Paulista- São Paulo - SP

Tel: (11) 5581-2045 / 5581-3566

www.ferticlin.com.br / ferticlin@ferticlin.com.br



不妊治療

体外受精 Fertilização In Vitro

卵子凍結保存 Congelamento de Óvulos

人工授精 Inseminação Artificial

精管切除後の治療 Vasectomizados



FERTICLIN
Clínica de Fertilidade

中野英二院長 不妊症専門医

DR RAUL NAKANO CRM 46.514
Especialista em Reprodução Humana

Av. Indianópolis, 1960 - São Paulo - SP

(11) **5581-2045** www.ferticlin.com.br